

● 8月13日(土) 晴 アポイ岳(810.6m)

○ 久しぶりのアポイ岳。今回で4回目かな。でもこの季節で登るのは初めてかも。

・4:20起床。外は霧雨が降っている。これからアポイ岳登山口まで200km近く走らなければならない。顔を洗ってすぐ出発。音更で高速に乗り大樹で高速を下り道の駅「コスモール大樹」に6時前に着いた。ここで朝食をとり朝の支度を整えてから、いざ出発。この辺りは雨は降っていないし、西の方は明るい。先が見えてきたな。国道236号線を快調に走り、様子へ出て快晴のアポイ岳登山口に7時15分に着いた。

・ここは4回目になるが、最近あまり来ていなかったし、ジオパークに指定されホテルが出来たりアポイ岳の情報が派手だったりして、かなり観光地化しているのではないかと心配して来たが、あまり変わっていないようなので安心した。

今朝出た土幌では雨が降っていたが、200km近く走って来たここ様子は快晴で雲一つ見えない。

・登山準備を整えて8時前にスタートした。三合目あたりまでは沢沿いの林間を歩く静かな道で、家族連れなども楽しげに歩いていた。

・ここではオオヤマサギソウが咲いていた。昨日雄阿寒岳を登って今朝は早くから車で移動してきたので少々疲れ気味。のんびりと林間の道を楽しんで歩いた。尾根に出たところが五合目に小屋があり一休みしてからガレ場の尾根を登って山頂へ向かう。アポイ岳の岩はカンラン岩でできていて青味を帯びた超塩基性岩のためアポイ岳固有の花が多いので有名だ。それに特異な気候のため、標高が低い山なのに雪解けから初雪の季節まで、各種の高山植物の花が咲き、いつ来ても色々な花が楽しめる。

今回は8月中旬と云うことで、この季節に来たのは初めてなので、どんな花に出会えるかが楽しみだ。

・まずイブキジャコウソウが足元に現れ山頂近くまでずっと咲いていた。ここでは初めて出会ったチシマセンブリがあちこちに可愛い花を咲かせていた。秋が近いのだなあと考えた。さらにキンロバイが斜面を黄色く染めていた。



イブキジャコウソウ



キンロバイ



アポイ岳登山口



カンラン岩



オオヤマサギソウ

・馬の背で一休み。下の方を見ると様子の海が青く光り、海岸線が浦河の方まで伸びているのがはっきり見えて すばらし眺めだ。





・ここにはなんと、白花のチシマセンブリが咲いていた。たったの一株だが途中で出会ったアポイパトロールのおじさんに「白花があるよ」と教えてもらって探し当てた。普通青い花を咲かせる可憐なチシマセンブリが白い花を咲かせることでさらに可憐に咲き誇っていた。



チシマセンブリ



その他アポイマンテマ、チャボヤマハギ、アポイハハコ、エゾマツムシソウや、今回初めてお会いしたヒメエゾネギやオヤマソバなどが咲いていて、写真を撮るのが忙しく疲れも忘れた。



アポイマンテマ



チャボヤマハギ



アポイハハコ



エゾマツムシソウ



ヒメエゾネギ



オヤマソバ

・山頂には3時間もかかって 11 時前に到着した。今日は土曜日で天気の良いし、人気の山だけあって山頂は大勢の人で賑わっていた。山頂は木が多いので展望は無いが登山者がそこそこに腰をおろして休んでいて、かなり踏み荒らされている。北海道では珍しいオーバーユースの影が見える。そういえば登山道も良く整備されていたし、ロープを張ったり階段が作られたりかなり人の手が入っている感があった。ジオパークに指定されて、気軽に登れる山なので、人が多く集まるようになったところの宿命だな。この山もこれから花が少なくなってゆくだろう。観光と自然保護のジレンマが見える。



人の手が入った登山道



・下りも花を探しながらゆっくりと下った。目の前には常に様似の海岸と太平洋の青海原が広がって見え、その海へ飛び込むようにして下ってゆく、すばらしい山だ。



・三合目付近の沢沿いの林道ではクルマユリとミヤマウズラに出会った。

登山口には1時半に着いてビジターセンターに寄ったら子供の自然教室をやっていた。どこでも同じようなことをやっているな。

受付のお嬢さんと今日見た花のことなどお話をした。



・今日はこれから三石へ行って泊まろう。ここからはそれほど遠くない。途中の浦河で給油と食料の買い物をすませ3時過ぎに道の駅「みついし」に着いた。ここは日帰り湯の蔵三が隣接しているでかい駅だ。まず蔵三の温泉に飛び込んで汗を流した。海沿いなので太平洋を見渡しながらゆっくりと気持ちよく入浴出来た。



・道の駅の案内所で「この辺にコインランドリーはありますか」「そこのトイレの横にありますよ」。参ったな！この駅にはコインランドリーがあった。早速今まで溜まった汚れものをまとめて洗濯した。溜まった汚れものといっても、夏だし一人の旅だから洗濯機一回で十分処理できる。洗濯している間に夕食に取り掛かる。

・今日は早朝から行動した。

今日のアポイ岳で今回の山旅のメインは終了したことになる。朝から天気が良かったし色々な花にも会えたし、ここで祝杯だ。

浦河でにぎり寿司を買って来た。

ビールで乾杯し今回の旅が無事終わろうとしていることを祝った。



・夕食がすむ頃には洗濯・乾燥が終わっていたので、そのまま畳んでしまうことが出来た。

今日も良い日だったな。 7時に就寝。

● 8月14日(日) 晴 移動(三石 から 室蘭へ)

○今回の山紀行の主要目的はほぼ無事に達成できたので、帰りの行程に入り、室蘭へ移動した。

・朝5時起床。雲は多いが天気は悪くない。天気予報では台風が北海道の道東に上陸めざして北上中という。積丹岳から始まった今回の山紀行だが、昨日のアボイ岳で目的がほぼ達成したので、この旅も終盤となり帰り道の計画を始めることになった。台風が道東に上陸する予報なので今日は西に向かって走り室蘭まで行くことにした。

・今日は室蘭まで移動するだけなので10時前まで、道の駅「みついし」の周りを散策したり、写真の整理をしたりしてのんびり過ごした。きょうは日曜日なので私の回りにはけっこう車が止まっている。蔵三へ朝風呂にゆく人もかなり見られる。空には雲がすっかりなくなり今日も快晴。照りつける日差しが暑くてじっとしてられない。



・10時に三石を後にして国道235号線を北上。太平洋を左手に見ながら海岸線を快適に走ったが、右手を見ると道端には一面にオオハンゴンソウが花を咲かせていて真っ黄色だ。一見黄色で綺麗だが、特定外来生物のオオハンゴンソウだ。箱根で



は我々が必死で除去を繰り返しかなり減少してきているが、北海道ではどこへ行ってもオオハンゴンソウの花盛りで黄色いお花畑が広がっている。どうみても手遅れだな。

・道の駅「サラブレッドロード新冠」に寄った。晴天の日曜日、駐車場は車でいっぱい。やっと空地を見つけて一休み。レ・コード館に入って無料のスペースだけ見学。いろいろ懐かしいレコードやシーンがあって、十分楽しめた。でもなぜここ新冠にこんなレコード専門の展示館があるのだろうか？

・そろそろ昼食時になるので、道の駅「むかわ四季の館」で食事をしようと思い寄ったが、ここも満車で人が溢れている。レストラン、食堂とも順番待ちなのでここでの食事はやめた。

・次に道の駅「ウトナイ湖」へ。当然大混雑。駐車場は全然空気がないので、隣にあるビジターセンターの木陰に駐車した。レストランへ行って「カニタマ丼」(750円)なるものが旨そうに見えたので注文。出てきたものは見た目は旨そうだが、玉丼の上にあんをかけ、申し訳程度のカニが上にのっているだけ。味は酸っぱいだけでめちゃ美味くない。少し食べただけで食えずに残した。やれやれ、とんでもない昼食だった。なにしろ日差しが暑くて外に



いられないので、ウトナイ湖をちょっと歩いてから室蘭へ向けて移動した。

・白老あたりを走行中に右側に樽前山を見たが、真っ黒な雲がかかっている山容が見えなかった。やはり天気が下り坂なのかな？ 海岸沿いに走る国道 36 号線を、左手に太平洋を見ながらのんびりと走って、4 時前に室蘭の道の駅に到着した。ここも満車で駐車余地がないので、隣にある温泉「ゆらら」へ。風呂に入って今日の汗を流し疲れを癒した。西に向かって移動してきたのが良かったのか、ここ室蘭は晴れていて太陽がガンガン照りつけている。太陽が傾き少し涼しくなってきた 6 時前に道の駅に戻ったら、やっと車も少なくなりうまく駐車出来た。

・夕飯も終わり 7 時過ぎ。さあ寝ようかと支度していると、どこの道の駅でも、駅が閉まり夕方になると車は殆どいなくなるのに、ここでは車は依然満車で人がいっぱいいる。駐車場から室蘭港公園あたりをぞろぞろ行ったり来たり歩いていて何か異様な光景が広がっている。いったい何なのだ！  
原因がほぼ判明した。みんなスマホを見ながら歩いている。ポケモン・ゴーをやっているのだ。  
夜 11 時過ぎにトイレに起きたら、まだ駐車場には車が溢れ、人が大勢右往左往している。  
ポケモン・ゴーはこの夏始まったばかりなのに、北海道のこんな所まで蔓延しているとはただ驚くばかりだ。  
夜になっても車の出入りが多くてうるさいが、疲れが眠気を誘い眠りに落ちて行った。

明日は天気も良さそうなので、昨年天気に恵まれなかった室蘭岳にまた登ることにしよう。